

# 四方 敏夫 氏 ・ 山田 瑤 氏

不二製油グループ本社株式会社

ESG 経営グループ リーダー・シニアマネージャー  
アシスタントマネージャー

## 企業戦略とサステナビリティ ～不二製油グループの事例～

令和3年3月12日

第6回検討会

### ■四方 敏夫 氏

1981年九州大学 理学部 数学科 卒業。同年、松下電器産業株式会社（現：パナソニック）入社。本社・事業部・アメリカ松下電器・ヨーロッパ松下電器などで IT システム構築、経営企画、リスクマネジメントに約 35 年携わったのち、2015 年 10 月に不二製油グループ本社株式会社に入社。以来、不二製油グループの CSR 推進・リスクマネジメント強化に取り組み、現在に至る。



### ■山田 瑤 氏

2015 年不二製油入社、入社後一貫して CSR 関連業務を担う。

現在 ESG 経営グループ CSR チームのアシスタントマネージャーとして、製品や事業プロセスを通じた社会貢献の検討から、サステナビリティに関するステークホルダーとのコミュニケーションなど、幅広い業務を行っている。

### <ご講演概要>

- 1950 年創業の BtoB 食品素材メーカーとして、主原料である**パーム、カカオ、大豆などのサステナブル調達**に取り組み、食の社会課題解決に貢献。
- この 1 年程度で国内の取引先メーカーからも**サステナビリティに関する問い合わせが急増**している。
- ESG 経営は商売そのものに直結**するものである。
- 消費者の消費判断として、欧米はコスト・品質 + サステナビリティという傾向がある。日本はコスト・品質に留まっていたが最近サステナビリティも加味する動きが出始めてきた。欧米と日本のこの消費者意識の違いの要因は、**教育や NGO への認識の違い**が考えられる。
- 人権デュー・デリジェンスで重要課題に上がる「**サステナブル調達**」とは、**サプライチェーンにおいて森林破壊のような環境問題や児童労働・強制労働等の人権問題が関与しない原材料を調達**すること。
- 当社が企業戦略として掲げる PBFS (Plant-Based Food Solutions) は、サステナブル調達なしには成り立たない。人権問題・環境問題をサステナブル調達に組み込み、**サステナブル調達を企業戦略の一つにして本業を通して社会に貢献**する姿を目指している。
- その意味で **ESG は真の経営企画**であり、**ESG を企業戦略に組み込み、グローバルスタンダードで会社を変えていく**ことを狙っている。
- 持続可能性に関する認証製品が消費者にとって価値として認められ普及するためには、**原料生産地の社会課題とその解決に向けた企業努力を消費者に理解してもらうことが大切**と思われる。